

発言No. 1

受付No. 2

令和5年2月15日  
10時 分 受付

## 委員会代表質問発言通告書

福祉環境委員会委員長 小川 稔宏

質問者：議席番号 6番 氏名 足立 豪

答弁を求める者  市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長  
(○をつける) 農業委員会会长 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

### 発言項目及び要旨

#### 1 障がい者支援について

##### (1) 浜田市の障がい者について

- ① 障がい区分（知的・身体・精神）の人数について、現状を伺う。
- ② 障がい区分（知的・身体・精神）の生産年齢人口について、現状を伺う。
- ③ ②の方のうち、仮に1000人の方が労働者として働いた場合（正規職員 月額15万円）の税収状況について伺う。
- ④ 今後、人口減少する中で障がい者といわれる方は増加傾向にあり、就労支援が必要であることは容易に想像できるが、現在の浜田市の考え方を伺う。



発言No. 2

受付No. 1

令和5年2月9日  
11時00分 受付

## 委員会代表質問発言通告書

産業建設委員会委員長 川上 幾雄

質問者：議席番号 8 番 氏名 川上 幾雄

答弁を求める者  市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長  
(○をつける) 農業委員会会长 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

### 発言項目及び要旨

産業建設委員会では、観光の表玄関ともいえる民間事業者が経営する「道の駅」ゆうひパーク浜田の状況に注目していた。そのような中、外的要因である新型コロナウイルス感染症の蔓延等により入込客が低迷するなどで、この施設に大きな変化が訪れようとしている。

この変化により「道の駅」ゆうひパーク浜田がどのように変わり、今後どのように経営がなされるかを執行部から示された資料のみでは読み取れないため、委員会を代表して質問する。

#### 1 「道の駅」ゆうひパーク浜田の今後について

幾多の変遷を経て、「道の駅」ゆうひパーク浜田が変化しようとしている。

その変化の大きなものには不動産（建物、関連施設）の市有化があり、付帯して新たな経営母体を模索するところにあるようだ。

##### (1) これまでの変遷について

- ① 「道の駅」ゆうひパーク浜田の成り立ちを問う
- ② これまで浜田市が行った支援策を問う
- ③ これまで経営者が行った経営良化策を問う
- ④ これまでの借入金状況を問う

##### (2) 公設民営化について

- ① 公設、すなわち施設（財産）の取得に至った経緯を問う
- ② 施設（財産）取得のスケジュールを問う
- ③ 施設取得後、現経営者に今後3年間経営を継続させる根拠を問う

(3) 公設民営化後の「道の駅」ゆうひパーク浜田の運営計画について

- ① 公設民営化に移行した後3年間の現経営者の計画を問う。
- ② 3年後に向かい公募型プロポーザルを計画されているが行程を問う
- ③ 新たに経営をなされそうな民間事業者の見込みを問う
- ④ 新たな「道の駅」に何を求めるか問う

発言No. /

受付No. /

令和 5 年 2 月 3 日  
11 時 00 分 受付

## 個 人 一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 8番

氏名 川上 幾雄

答弁を求める者

(○をつける)

市長  教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

### 発言項目及び要旨

市においては、公募型プロポーザル方式（業者の参加を公示により広く募集し、技術提案書や企画提案書などにより契約締結者を選定する方式）による事業の入札が実施されつつある。

このプロポーザル方式による入札は、提案内容を審査し、質の高い成果を求めて行うことは理解できる。だが多くの問題点を含んでいると思われる。

この問題点を掘り起こし、「より良い入札制度」となればとの思いで以下質問を行う。

#### 1 公募型プロポーザル方式について

例として、「浜田市シルバーハウジング生活援助員派遣事業」「浜田市外国語指導助手（ALT）派遣業務」「再エネの最大限導入のための計画づくり事業業務委託」の3事業について、次の中項目（1）から（3）の質問に対し、答弁を求める。

また、中項目（4）及び（5）の質問に対しては、市としての総体的な考え方を伺う。

##### （1）採用の理由とメリットについて

- ① 対象業務とした理由を問う
- ② 採用に求めるメリットを問う

##### （2）公募の範囲と見積上限額について

- ① 公募について、どのように広く募集しているか問う
- ② 見積上限額をどのように設定しているか問う

##### （3）提案見積書の内容及び会社概要の取扱いについて

- ① 提案見積書及び内訳が、どの程度（概略か、詳細か）記載されているか問う
- ② 会社概要及び財務情報をどのように取扱っているか問う

- (4) 審査方法の公正性・透明性・客観性について
  - ① 審査員の選定をどのように行っているか問う
  - ② 受託候補者の選定をどのような基準により行っているか問う
  
- (5) 審査及び結果の透明性について
  - ① 審査会を公開すべきと考えるが市としての考え方を問う
  - ② 審査結果の内容をどの程度公表しているか問う

発言No. 2

受付No. 18

令和5年2月15日

10時40分 受付

## 一般質問発言通告書

議席番号 4 番 氏名 三浦大紀

答弁を求める者  
(○をつける) ○市長 ○教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長  
農業委員会会长 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

### 発言項目及び要旨

R5年度施政方針及び教育方針をふまえて、以下、質問する。

#### 1、協働のまちづくりについて

①各まちづくり推進委員会等の活動に対して、まちづくりコーディネーターを含め、状況に応じた関わり方（支援）が十分にできているか。

#### 2、石見神楽の振興について

①どのような戦略に基づいて広報活動（東京での公演等）が計画されたか。

#### 3、DXの推進について

①地域課題・行政課題の解決にデジタル技術を活用することを政策の中でどのように位置付けているか。

以上



発言No.

3

受付No.

8

令和 5 年 2 月 14 日  
10 時 28 分 受付

## 一般質問発言通告書

議席番号 17 番

氏名 永見 利久

答弁を求める者  
(○をつける)  
会委員長

市長  教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長  
農業委員会会长 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員

### 発言項目及び要旨

#### 1 公共交通の充実について

##### (1) あいのりタクシー等運行支援について

中山間地域における高齢者等の交通手段の確保による生活環境の維持向上及び外出機会の創出を目的として、令和 3 年度に始まったあいのりタクシー等運行支援について質問をさせて頂きます。

- ① 令和 5 年度までを試行期間とし、中山間地域振興枠を活用して集中的に実施団体の増加を図るとされているが、これまでの状況について伺う。
- ② 特に高齢者等の交通手段を確保することが大きな目的だが、どのように分析しているのか伺う。
- ③ 令和 3 年度の決算では予算に対して執行率が 14.2%だったが、本年度の見込みと、来年度予算の方針について伺う。
- ④ 当時の予算説明資料の中に、タクシー等の公共交通の有効活用により、事業者の経営安定化の効果が期待されるとあるが、効果について伺う。

## (2) 地域公共交通について

令和2年3月定例会議で、タクシー事業者の休業に関して質問を致しました。それから2年経過して、今度は別の市内タクシー事業者が営業停止されました。このことに関して質問をさせて頂きます。

- ① 市内タクシー事業者が営業停止され、公共交通が減少した。このことに関して市はどういう受け止めをされているのか伺う。
- ② 地域公共交通の減少による交通弱者への影響と、対応策の考えを伺う。

## 2、学校施設の整備状況について

学校施設は、子供たちが、学習と生活する場として安全な施設環境の確保が必要不可欠だと思い、安全対策に関連した質問を致します。

- ① 文部科学省は、公立学校施設の「老朽化状況調査」及び「耐震改修状況フォローアップ調査」の結果を公表しているが、浜田市内の公立の幼稚園、小、中学校での老朽化状況調査について伺う。
- ② 浜田市立小中学校統合再編計画で整備方針が示されている学校においては、利用開始までにまだ数年かかる。建築後40年を経過している学校もあり、日常的な点検や修繕により、建物の健全化に取り組む必要があると思うが考え方を伺う。
- ③ 新型コロナウイルス感染対策に向けた、これまでの整備状況を伺う。

発言No. 4

受付No. 7

令和 5 年 2 月 14 日  
8 時 46 分 受付

## 一般質問発言通告書

議席番号 5 番 氏名 沖田真治

答弁を求める者  
(○をつける) 市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長  
農業委員会会长 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

### 発言項目及び要旨

#### 1 水産業の振興について

##### (1) 施政方針の水産業の振興について

① 施政方針に示された荷さばき所建設、漁船の建造、養殖事業の可能性の調査・研究などはいずれも重要なことであり、浜田の漁業に持続性を確保していくうえで行っていくべきことと理解する。しかし、今後、漁業資源の減少に歯止めがかかるとは思えず漁獲高の増加は厳しい状況である中、市として養殖事業とともに限りある資源の有効活用、水産資源の保護などにも取り組んでいく必要があると考える。浜田市の水産業の振興において浜田市が目指す目標とはいかなるものかを伺う。

##### (2) 魚食普及について

① 未利用魚について市の考えを伺う。  
② 新たにブランド化やPRに取り組んだアンコウ、アナゴ、バトウの魚価はブランド化やPRする前と比べ変化があったのか伺う。

##### (3) 漁業資源と漁場環境改善の推進について

① 漁業経営安定対策制度と連携した資源の管理への浜田市の取組状況を伺う。  
② 藻場造成や岩盤清掃等による漁場環境の改善の状況を伺う。

